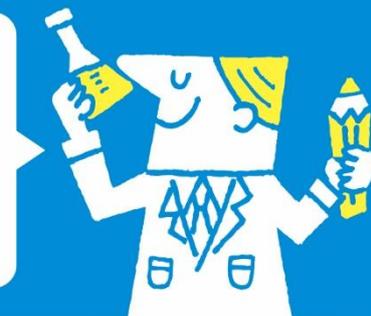


ニッセンケン分室「思いつきラボ」No. 86

## “プロミックス”と“ポリクラール”のお話です・・・



新年度となる 4月を迎えました。桜が咲きほこって春らしくなったり 雪が積もったり 夏日を記録したり相変わらず気候は気まぐれようですが 新社会人や新一年生を見掛けることが多くなりました。4月というだけでなんとなく気持ちが明るくなります。やはり桜の淡いピンク色がウキウキ気分させてくれるのかもしれない。桜色といいながらも4月の陰暦の呼称は“卯月（うづき）”で卯の花が咲くころの月という説があります。卯の花は空木（うつぎ）の花で白い花をつけるのですが 春の色のイメージとしては白ではなく桜色か菜の花の黄色といったイメージの方が強い気がします。卯月は陰暦の4月なので6月の初夏くらいの時期にあたりますので当然の話なのですが・・・。



### お疲れ様 “プロミックス”と“ポリクラール”

今回のテーマは 4月 1日から繊維製品品質表示規程の変更があったのですが その中で繊維名の指定用語から外れた“プロミックス”と“ポリクラール”のお疲れさま原稿にします。改正後の表示についてはアナウンスも多いと思いますので 充分理解して取り組んでいただきたいと思いますが 廃止となった繊維について今後話題となることも少ないと思いますので どんな繊維だったかくらいは思いつきラボでは残しておきたいと思い取り上げておきます。2016年 12月に洗濯表示の改正があったばかりですので続けて家庭用品品質表示法の改正がなされたということになります。

“プロミックス”は半合成繊維に区分されている繊維でミルクと合成物であるアクリロニトリルと混ぜ合わせて結合させた **動物性たんぱく質系繊維**のことです。1970年代前半に開発された繊維で筆者が紡績に入社したころには話題の繊維ではありましたが。絹に似た繊維をカイコ以外で作ろうとしたもので絹と同じ動物性たんぱく質のミルクカゼインが主原料になっています。絹を目標にしているので風合いや光沢感はシルキーなタッチでさらに絹よりも軽いという特徴がありました。絹と同じ動物性なので絹を染める染料で色付けができ しかも発色性も優れているものになっています。吸水拡散性に優れているのでベトツキ感がなく直接肌に触れる肌着や靴下などに適していた商品でした。もちろん絹織物と同じく和装品にも使われていました。その後シルキータッチのナイロンやポリエステルなどの合成繊維が開発されて価格的な競争力のない “プロミックス”の出番がなくなり現状では市場から姿を消してしまいました。



“ポリクラール”は合成繊維に区分される繊維でポリビニルアルコールという合成樹脂が主原料となっています。衣料品の用途で使われることはまずありませんので 繊維業界やアパレル業界にいてもあまり馴染みのない繊維です。最大の特徴が難燃性でカーテンやカーペットなどのインテリア商品に使われていました。防災・安全評価グループの立場でいえば 災害時の持ち出し袋や手持ち式金庫などの用途に使用されています。燃えにくいということを目的にした用途にしか注目されないので市場性の少ない繊維ではありましたが、難燃性繊維よりも防災剤の開発が進んでしまい 他の合成繊維に防災加工や難燃加工をすることで燃えにくい生地が作れるようになったため繊維自身が燃えにくい“ポリクラール”の需要も減ってしまったということなのです。

ということで今回の家庭用品品質表示法の改正で“プロミックス”と“ポリクラール”という指定用語は廃止になりました。ちなみに代表的な商標でいえば“プロミックス”は東洋紡の「シノン」で“ポリクラール”は興人の「コーデラン」が有名なところになります。名前くらいは聞いたことがあるかもしれませんが市場ではあまり見掛けない繊維になってしまいました。お疲れさまでした・・・。

指定用語に関する改正としては“指定外繊維”という表記もなくなります。指定外繊維が増えてしまったことも要因かもしれませんが 繊維の由来がわかるように

**「植物繊維」「動物繊維」「再生繊維」「半合成繊維」「合成繊維」  
「無機繊維」「分類外繊維」「羽毛」「複合繊維」**

の9種類の指定分類用語になりました。消費者がよりイメージしやすい言葉を用いて表示するために用語の整理を行ったということになってはいますが 慣れるまで少し時間がかかりそうです。2017年4月1日施行ですが経過措置として2018年3月31日まで猶予期間がありますのでこの1年はどちらでも良いということになります

### 春の訪れとともに心機一転



当社にも新人が入ってきて華やいだ雰囲気になっています。新人研修セミナーで筆者も“繊維の基礎知識”という講話を担当したのですが 皆さん真剣に聞いてくれていました。筆者が新社会人になったのはもうすでに40数年前の話なのですが久々に当時のことが思い出されました。ベテランにありがちな取り組む姿勢がちょっと雑になっているかもしれません。新人さん達を見習って 気分一新 明日からガンバロー・・・。(今から頑張れ!!)

原稿担当：竹中 直(チヨク)